

トラコンブスポーク取り付け時の重要事項

Rシスのトラコンブコンセプトでは、ニップルとカーボンチューブ形状スポークが一体化されています。このため、カーボンチューブ形状スポークのニップルを回すと、スポーク全体（ニップル、チューブ、ヘッド）が回転します。

トラコンブコンセプトでは、圧縮に耐えるよう、カーボンチューブ形状スポークのヘッドがハブボディの内側にトラコンプリングで取り付けられています。これにより、スポークが自由に動かないようになっています。

したがって、（振れ取り、スポークの交換、リムの交換のときに）カーボンチューブ形状スポークのニップルを回す時には、最初にハブからトラコンプリングを取り外す必要があります。



損傷したカーボントラコンブスポークの識別

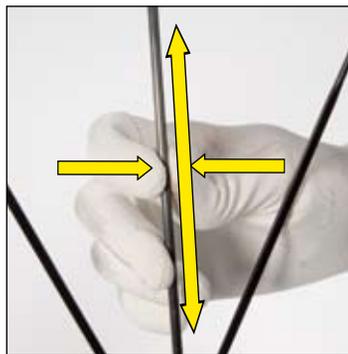
必要なツール

- 保護用グローブ

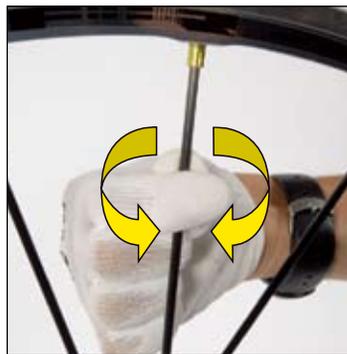
カーボントラコンブスポークはユニディレクショナルカーボン構造であるため、特に強い衝撃を受けた後は、割れる場合があります。割れた場合は、スポークが圧力を支えられなくなりますが、スポークテンションによる引っ張り力には支えられます。

この場合、ホイールの振れもスポークの形状も変わらないため、損傷したスポークを見つけるのは困難です。

損傷したスポークを識別するには、次の手順に従ってください。



各カーボントラコンブスポークの端から端までを指で押します。



カーボントラコンブスポークの端から端まで、指をつかんで回します。

折れる音がしたり、回したときにスポークがしなるように感じられたりしたら、そのスポークは割れているため、交換する必要があります。

スポークは割れると、スポークのヘッドがニップルと同時に回転しなくなるため、ホイールのセンター、横の振れを取ることができなくなります。